

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—	
事業毎の通番		2		市町村名		小海町	
事業目的		当該地は、平成10年に災害関連緊急治山事業で復旧した区域であり、平成16年にも小崩壊が発生し県単治山事業により復旧した、地質脆弱な区域である。 平成26年4月に凍結、融解等による経年変化で落石が発生し、小屋の一部が破損する被害が発生、落石対策と共に、過去の被災状況をもとに崩壊の発生源の事前防災として施設整備を行い、あらかじめ崩れにくい森林づくりを目指したい。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等		森林法	
関連する事業、計画等							
保全対象・範囲 受益対象・範囲		ニタ小池団地、ニタ小池公民館、小海町交番、町道100m					
着手年度		平成27年度		事業期間		3年間	
完成年度(見込み)		平成29年度		費用対効果		3.2	
全体事業内容(主な工種)		モルタル吹付工100㎡ 斜面補強土工600㎡、落石予防工20㎡、森林整備1.5ha		事業費(千円)		57,000	
年度事業内容(主な工種)		モルタル吹付工100㎡ 斜面補強土工100㎡、落石予防工20㎡		国庫		28,500	
				その他		25,650	
				県債		3,915	
				一般財源		435	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 人家20戸、ニタ小池公民館、小海町交番、町道100mの保全					
		間接的効果(定量的・定性的)					
必要性		○人家戸数: ニタ小池団地人家20戸 ○公共施設数: 小海町交番 町道100m ○災害時要援護者関連施設の有無: ニタ小池公民館 ○保安林・林業用施設: 2.48/2.48=100%				評価 A	
重要性		○過去の災害履歴: H26.4落石により小屋の一部破損 ○交通遮断による地域経済への影響: 団地内の道路遮断により孤立が懸念される ○地域防災計画上の位置付け: 小海町防災マップに掲載				評価 A	
効率性		○費用便益比(B/C): 3.2 ○事業期間: 3年 ○工法等の比較検討: 事前防災を目指した対策の検討が必要 ○流域の総合調整: 調整済(事業区域は全域保安林)				評価 B	
緊急性		○流域の地形、地質: ローム・火山岩屑 ○平均渓床勾配(平均山腹勾配): 28° ○下流の堰堤等の整備状況: なし ○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域: 山303-32 A				評価 A	
計画熟度		○事業情報の共有: 関係者を中心に周知予定 ○地域の取り組み: 協力的である ○地域の合意形成: 合意形成が図られている ○住民との協働: 地元区と協働している				評価 B	
部意見		H26.4に落石が発生し、人家が被災した。上部には転石の発生源となる不安定な斜面があり、放置すれば再度の被災が懸念されるため、対策を行う必要がある。		行政改革課意見		斜面の直下に人家がある。今後の降雨等により落石や土砂が流出する恐れがあることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。 ○ A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

【整備の必要性がわかる状況写真等】

【落石被災状況】

【ノンフレーム工法施工イメージ】

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成10年及び平成16年に山腹が崩壊した区域であり、地質が脆弱である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年4月に落石が発生し、小屋の一部が破損したため、町から要望も強い。
③事業説明等の経緯	町及び地方事務所で現地調査を行い、被災原因と今後の対応を検討した。今後関係者に周知する予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	事前防災を目指した施設整備を併せて、災害に強い森林づくり指針に基づいた森林整備を進める。
⑥地域活性化への影響と配慮	
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 36° 04'45.8"
東経:E 138° 28'46.7"